

# 単志報



## 城岳みらいツアー実施

「城岳みらいツアー」は県外の大学から未来を見るというコンセプトで企画されました。今回は関東（主に東京）の大学見学、研究施設または国の行政機関の見学と同窓生との意見交換会などを目的に2012年8月8日～10日の二泊三日のツアーが実施されました。

参加者は二年生が3人、一年生が2人、引率が1人の計6名でのツアーでした。

東京大学や懇親会、研究室訪問の他、東京外国語大学、東京工業大学、一橋大学、青山学院大学、早稲田大学、慶応大学など有名校を各自で訪問しました。

帰省後、参加した生徒と引率の久山先生が同窓会館を訪れ、「那覇高校の先輩には、このような素晴らしい方々が多数いらっしゃる事が分かりました。自分たちもしっかり勉強して先輩たちのようになりたいです」と語ってくれました。

次年度は学校側として、関西方面のツアーを計画しています。



左の写真は南風原朝和東大教授の研究室にて後列左から 仲本祐貴（2年生、青山学院大学志望）、根路銘国真（2年生、東京外国語大学志望）、下地弘貢（1年生、未定） 前列左から 久山賢一先生、南風原朝和教授、大見謝清乃（1年生、早稲田大学志望）、宮城寛知（一橋大学志望）

## 城岳みらいツアー要項

- (1) 日 時 平成24年 8月 8日(水)～10日(金) 2泊3日  
 (2) 費 用 50,000円(航空賃+宿泊費) ※途中の電車代、昼食代は個人負担  
 (3) 宿泊先 ホテルメトロポリタンエドモンド  
 東京都千代田区飯田橋三丁目10番8号  
 Tel 03-3237-1111 (代表) Fax 03-3234-4371 (代表)

### (4) 日 程

月 日	日 程	
8月8日 (水)	06:30 那覇空港集合 07:30 那覇空港発 JAL900便 09:55 羽田空港着 10:30 ホテルへ移動(羽田→品川→日本橋→飯田橋) 11:30 ホテル着 12:00 ホテルへ荷物を預けて、東京大学へ(飯田橋→東大前) 12:30 東大内で昼食(各自負担) 13:30 東京大学赤門前に集合 南風原朝和教授(本校OB)との懇談会及び校内見学 17:00 ホテルへ移動(東大前→飯田橋) 18:00 懇親会場へ移動 18:30 先輩(大学生)との懇談会 20:00 懇談会終了 20:30 1日のまとめ 22:30 就寝	700円     160円       160円
8月9日 (木)	07:00 朝食(ホテル内) 09:30 ホテルより徒歩で東大へ 10:20 東大着 10:30 (株)ユーグレナ 研究室訪問 11:30 訪問終了 12:00 昼食を含め各自で大学訪問 ・東京外国語大学 ・東京工業大学 ・一橋大学 ・青山学院大学 ・早稲田大学 ・慶応大学 18:00 ホテル集合 18:30 関東城岳同窓会との懇談会 20:30 懇談会終了 21:00 1日のまとめ 22:30 就寝	(各自負担)
8月10日 (金)	07:00 朝食(ホテル内) 08:30 チェックアウト 09:00 ホテルから貨幣博物館へ(飯田橋→日本橋→三越前) 09:30 貨幣博物館見学 10:50 日本銀行で受付 11:00 日本銀行見学 12:00 昼食及び移動(三越前→新橋→テレコムセンター) 13:30 サイエンススクエア臨海の見学(※調整中) 15:00 羽田空港へ移動(テレコムセンター→台場→空港(バス)) 15:40 空港着 16:15 羽田空港発 JAL923便 18:40 那覇空港着 解散	160円     530円  680円

## 40年ぶりの運動会



東京大学大学院教育学研究科教授  
南風原 朝和（那覇高校25期）

私は復帰直前の1972（昭和47）年3月に卒業しました。二中から数えるところだとちょうど60期になります。在学当時、那覇高校の運動会は3年に一度開催されていて、私たちが3年生だった年に開催が予定されていました。しかし、その年は記録的な干ばつで水不足が続き、運動会の練習のために貴重な水を使うことの是非が検討されて、結局その年は中止となりました。それで私たちは、運動会を一度も経験しないまま卒業することになりました。

卒業後、私は国費沖縄学生制度で東京工業大学に入学させてもらいましたが、進路についての迷いや、理数系の秀才が集まる大学での勉強の難しさもあって、そのもったいなさも自覚しないまま半年で東工大を退学して沖縄に帰りました。初めての大きな挫折でしたが、高校の恩師の赤嶺成喜先生に励まされて、翌年、再チャレンジすることになりました。国費で入学した大学を辞退すると国費受験の資格がなくなるため、今度は一般受験でしたが、幸い東京大学理科Ⅱ類に合格することができました。受験準備期間が限られていたので予備校には通わず、自宅で教科書を読み直し、基礎基本をじっくり確認する方針で臨みました。東大では、東工大のころから興味をもちはじめた心理学を学びたいと考え、教育学部教育心理学科に進学しました。その後、東大の大学院からアイオワ大学の大学院に移り、心理と数理の融合領域である心理統計学の研究を始めました。

1981（昭和56）年にアイオワ大学から博士の学位を授与されました。この年、長男も誕生し、私にとって忘れられない年になりました（妻は那覇高校の同期で、昨年と同窓会報に東北大学総長就任の記事が載った20期の里見進は妻の兄です）。その翌年、28歳の時ですが、2学期間だけ、アイオワ大学大学院で講義を担当しました。流暢とはいえない英語で、それでもジョークだけは必ず入れるようにしたその時の初講義から30年、新潟大学での勤務を経て、現在は東大で心理統計学の研究・教育に従事しています。

さて、表題の運動会ですが、東大には中高一貫の附属中等教育学校（旧制東京高校の後身で東大附属と略称されます）があり、教育学部の教授が2年交代で校長を兼任することになっています。私は4年前に東大附属の校長に任命され、図らずも、那覇高校入学前の神原中学校以来、40年ぶりに学校の運動会を経験することになりました。当日はテントの本部席で楽しく観戦していたのですが、ウルトラマンに扮してリレーに参加していた教員が、急に走路を外れて本部席の私のところに駆け込み、ウルトラマンの3分の活動限界が来たとジェスチャーで伝えて、私に無理やりバトンを渡したのです。私は、そこは空気を読んでバトンを手を脱兎のごとく駆け出しました。直後に太腿の裏に激痛が走りましたが、何とか転倒はせずに、痛みを笑顔でごまかしながらゴールしました。肉離れで、閉会式の時は朝礼台に昇り降りするのも大変でしたが（痛くて階段を降りられないので、一気に飛び降りました）、何とか生徒や教員たちに気づかれずに役割をはたすことができました。

東大附属での校長兼務は、まったく想定していなかった役割で、多少の苦勞もありましたが、生徒たちとのつながりができ、また40年ぶりに運動会を楽しみ、自分の高校時代を思い起こすこともできて、良い経験をさせてもらったと、いまでは感謝しています。

## 同窓会 topic



### 二中34期生の島袋慶三さんから二中校章の贈呈

二中34期生の島袋慶三さんが城岳同窓会事務所を訪れ、二中の校章を額縁に入れて寄贈していただきました。

島袋さんは棚を整理していたところ二中の校章が出て来たので、同窓会の方で保管してもらいたいと持参して下さいました。

皆様も二中・那覇高校にまつわるお宝をお持ちでしたら、是非同窓会館に持って来て下さいますよう、よろしくお願ひします。



### 城岳同窓会 源河徳博会長春の叙勲受章



平成24年春の叙勲において、社団法人城岳同窓会の会長である源河徳博氏が「瑞宝小綬章」を受章いたしました。

5月17日にホテルレインボーにおいて受章祝賀会を開催しました。



### 〈同窓会消息〉

- 2012年の春の褒章で、建築設計監理業の具志堅喬さん（17期）が、黄綬褒章に輝いた。具志堅さんはこの道一筋40年。100周年記念事業の「学校施設の将来構想」部会の委員も務めた。県内からの受賞者は8人。黄綬は3人。
- 沖縄調理師専門学校で、料理研究家の安次富順子さん（15期）は、2011年12月調理師養成功労で厚生労働大臣表彰を受けた。沖縄の食文化を理解する調理師の育成貢献が理由。女子栄養大学の香友会沖縄支部長も務める。
- 元中学校の美術教師で、県美術教育推進協議会会長の赤嶺幸雄さん（8期）は、2012年3月第11回全国退職者教職員絵手紙作品展で県内から唯一優秀賞に選ばれた。
- 詩人で、山之口獭賞などの受賞歴を持つ市原千佳子さん（23期）は、詩集『月しるべ』で県内から初となる丸山豊記念現代詩賞を受賞した。  
現在、宮古島市在住。『月しるべ』は、『太陽の卵』に次ぐ19年ぶりの第4詩集。
- 元高校教師で、歌人の當間實光さん（15期）が、4月に第1歌集『大嶺崎』を出版した。タイトルの「大嶺崎」は基地に接収された故郷の地名。  
6月17日那覇市内で歌集を読む会・懇親会が多数参加して行われた。
- 関西城岳同窓会の中心的メンバーで、琉舞家元の金城康子さん（12期）は、5月26日WUB関西の新会長に選ばれた。これまで副会長を務めていた。

# 一般社団法人城岳同窓会移行に向けて

事務局長 與儀 幸英

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴い、城岳同窓会は平成21年6月2日に第1回公益法人制度改革移行検討委員会が、宮里善博（会計士22期）、幸地啓子（税理士23期）、石川義博（司法書士23期）、西村眞一（税理士26期）、大濱剛（税理士34期）、福直治（税理士37期）、上江洲由哲（那高27期）宮城明（事務局長18期）の8名で設立された。

平成21年8月24日第2回公益法人制度改革移行検討委員会では「一般社団法人への移行発言が多数。」で平成21年12月1日第3回公益法人制度改革移行検討委員会では、「社団法人城岳同窓会が一般社団法人城岳同窓会へ移行する方向で作業を進める。」事が確認された。

平成23年7月27日第4回公益法人制度改革移行検討委員会では、定款については石川義博司法書士が作成し、公益目的支出計画等については、幸地啓子税理士が作成する事になった。しかし、平成24年2月16日第5回公益法人制度改革移行検討委員会では、石川義博氏が体調不良と云う事で、伊良皆進功（司法書士29期）へ変更になった。

今回の一般社団法人城岳同窓会への移行で最大の課題は、社員（代議員）の選出である。

代議員の選出については、県教育庁県立学校教育課管理班と10数回の面談等々を行った。特に社員（代議員）の選出については、「必ず選挙をする方向で進めるように。」と強い指導がなされた。

二中卒から5人以内、那覇高1期～10期から5人以内と、社員を10期毎に5人以内で、40人以内を選出するための、選挙をしなければならない。

城岳同窓会は1953年（昭和28年）に設立され、1966年（昭和41年）に社団法人化し、1988年（昭和63年）に今定款が制定された。

設立以来那覇高等学校内に事務所を置いているため、同窓会活動がやや制限されていた。

その後、1996年（平成8年）に現在の城岳同窓会館を取得し事務所を移転する事により、同窓会活動が目覚ましく躍進した。

今回、定款変更を監督庁へ認可申請を行い、2012年（平成24年）7月4日「沖縄県教育委員会指令第24号」で一般社団法人および一般財団法人に関する法律及び公益法人及び公益法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号）第94条第6項の規定により認可を戴きました。

今後は、法務局へ平成24年度の理事及び主たる事務所の住所を移転登記して、一般社団法人城岳同窓会への移行に向けた公益目的支出計画の作成等認可申請の諸手続きを行い、平成25年4月1日をもって一般社団法人城岳同窓会として再出発をする。

公益法人制度移行については、伊良皆進功司法書士と幸地啓子税理士の格別なるご指導とご苦勞に対して、特段なる感謝と御礼を申し上げます。

## 平成24年度総会並びに懇親会

5月26日ハーバービューホテルクラウンプラザ2階の「彩海の間」にて城岳同窓会総会と懇親会が開催され、多くの同窓生が参加しました。35期を中心とした36、37、38期の皆様が今年の懇親会実行委員で、全員参加をめざしたアットホームな雰囲気での楽しい懇親会でした。



懇親会で配布されるパンフレットが今年は新聞形式に一新

卒業60年目を迎えた5期生の皆様

## 二中健児の塔慰霊祭

6月23日慰霊の日に城岳公園内の二中健児の塔で慰霊祭を行い、多くの遺族の他、那覇高校生も参列しました。



## 城岳同窓会 A氏奨学生決まる

〈平成23年度A氏奨学生第4期生〉

左 與座隆徳君（沖縄国際大学情報学部産業情報学科）

中央 安谷屋さつきさん（沖縄県立看護大学）

右 小波本章浩君（九州共立大学スポーツ学部スポーツ学科）

※A氏奨学金は同窓生A氏による奨学金寄付を基金とした城岳同窓生の奨学金制度。平成21年3月卒業生より募集を開始した。



## 祝 東京大学合格 宇地原 伸君 (64期)

我が母校から久しぶりに東京大学文科二類へ入学しました。

宇地原君は独自の学習方法で東大合格を果たしました。

4月には宇地原君の入学、8月には城岳みらいツアーで南風原朝和東大教授(25期)を訪問するなど、今年は東大Yearです。



## 平成24年度の主な事業計画

今年度の主な事業は下記の通りです。

平成24年	4月9日(月)	平成23年度会計監査	
	4月19日(木)	理事会	
	4月26日(木)	評議員会	
	5月26日(土)	平成24年度総会並びに懇親会 ハーバービューホテル・クラウンプラザ2F 「彩海の間」 総会：午後5時00分 懇親会：午後6時30分	
	6月7日(木)	第1回理事会	
	6月17日(日)	城岳同窓会主催二中前通りクリーン大作戦	
	6月23日(土)	二中健児の塔慰霊祭	
	9月3日(月)	会報18号発行	
	10月18日(木)	城岳講座	
	11月11日(日)	第13回那覇高校・首里高校スポーツ対抗戦	
	11月22日(木)	第2回理事会	
	平成25年	4月18日(木)	第3回理事会
		4月25日(木)	評議員会

## 事務局だより

同窓会の活動は会員の年会費1,000円または終身会費5,000円及び諸寄附金によって賄われております。現在終身会費の納入状況は那覇高50期から64期までは100%です。しかし、それ以前の期についてはかなり低く、母校に対する支援事業の縮小が懸念されます。平成25年度新校舎建築を目前にして、伝統校の誇りと自信に満ちた校風の継承と発展のため、同窓生一人ひとりの積極的な関わりとご芳志をお願い致します。

振込先 琉球銀行泊支店 店番号306 口座番号 普通78142  
口座名義人 社団法人城岳同窓会 会長 源河徳博(ゲンカノリヒロ)  
問合せ 城岳同窓会事務局 與儀幸英 Tel: 098-867-2525

〈部活動〉(九州大会出場など)

平成24年度沖縄県高等学校総合体育大会 女子の部 優勝

●ボクシング

第66回全九州高等学校ボクシング競技大会

ミドル級 Bパート 3位 中江 誠

●美術・書道

第18回九州高文連美術・工芸書道写真展福岡大会(平成24年7月15日)

美術部門 優秀賞 新垣成美、小橋川叶子

書道部門 優秀賞 城間小采

●女子ウエイトリフティング

平成24年度第14回全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会

69kg級 トータル 5位(143kg) 比嘉裕季

●放送部

第36回全国高等学校総合文化祭(8月12日)

放送部門 オーディオピクチャー部門 優秀賞 放送部 「母の戦争」

第59回NHK杯 全国高等学校放送コンテスト

アナウンス部門 入選 大城昂子

ラジオドキュメント部門 奨励賞 波平龍侍 當間唯菜

仲田ひなこ 大城昂子

●吹奏楽

第57回九州吹奏楽コンクール

金賞 吹奏楽部

●書道展

第11回岐阜女子大学全国書道展

特賞 比嘉佳美、奨励賞 新里優利

第41回全国高校書道展

準特選 仲井眞歩加

城岳同窓会館のご案内

「母校に同窓会館を」との声が同窓生の間から叫ばれ、同窓生各位のご尽力により平成8年に実現しました。会館は同窓会員の親睦の場です。会員のみなさん!! ご利用下さい。

- ・ 2階は二中・那覇高の歴史を後世に語り継ぐ資料展示室
- ・ 3階は会員のクラス会、会議、趣味の集まりなどに利用でき、収容人員は50人です。
- ・ 4階は進学指導教室として、学校が活用しています。

なお、使用料金(光熱費)は1団体:1時間800円です。

城岳同窓会ホームページ

<http://www.jogaku.or.jp>

城岳同窓会会報

編集発行 城岳同窓会 〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1-21-53 電話・FAX 098-867-2525

E-mail: [yogi@jogaku.or.jp](mailto:yogi@jogaku.or.jp)